

団体名	公益財団法人 横浜市国際交流協会 横浜市国際学生会館						
事業名	「ウズベキスタン文化講座」、「交流会」と「インターナショナル・カフェ&国際屋台村」						
実施期間	2025年6月21日（土）、2025年7月12日（土）、2025年7月19日（土）、2025年9月21日（日）						
場 所	横浜市国際学生会館 3階ホールと潮田交流プラザ 1階通路						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く、地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	130	117	53	265	38	18	621名

<実施内容>

<p>① ウズベキスタン文化講座 (6月21日)</p> <p>日本ではあまり知られていないウズベキスタンの地理、言語、食文化、経済などについて、パワーポイントを用いて紹介しました。併せて、人気料理やお茶・お菓子の試食、ウズベク語で名前を書く練習、香辛料のプレゼント抽選会などを行い、参加者から好評を得ました。また、チャパン、ヤフタク、アトラス、スザニやトゥベティカ（ドゥッピ）などウズベキスタンの伝統的な民族衣装の試着もありました。最後に、質疑応答を行い、参加者との異文化理解を促しつつ、留学生との交流を行いました。</p> <p>② 地域交流会 (7月12日)</p> <p>イラン、インドネシア、ミャンマーの留学生が自国の料理を調理し、地域住民や他国の留学生に料理の特徴や材料、食習慣などを説明しながら、自国の食文化を紹介しました。また、自治会の方々も日本料理を振る舞い、参加者全員が互いの味や文化を楽しみながら交流を深めました。食を通じて地域と留学生がつながる、温かい国際交流の場となりました。</p> <p>③ 英語を使った留学生交流会 (7月19日)</p> <p>日本人3〜4名と留学生2〜3名でグループを編成し、20分ごとに留学生のみがグループを入れ替える形式で実施しました。これにより、参加者がより多くの留学生と英語で交流できるよう工夫しました。各グループでは、留学生が日本での生活経験や、日本との生活習慣の違い、留学生活での苦勞や楽しみ、自国の料理や季節の過ごし方などについて紹介し、地域住民が興味を持って質問するなど、活発な交流が行われました。地域住民は、各国の料理の特徴や季節の行事、日常生活のリズムなどを通して異文化への理解を深めることができ、英語を使いながら自由に会話を楽しむ良い機会となりました。</p> <p>④ インターナショナル・カフェ&国際屋台村 (9月21日)</p> <p>7月に开店希望者を募集し、留学生が自国の文化や料理を紹介しました。物価上昇を考慮し、「インターナショナル・カフェ」は1か国1万5千円、「国際屋台村」は1か国4万円の予算を設定しました。外壁工事により屋外ブースを中止し、1階に案内ブースを設置して実施しました。結果として「国際屋台村」は行わず、14か国の料理やお茶・お菓子を「インターナショナル・カフェ」で提供しました。</p> <p>来場者との交流促進のため「スタンプラリー」を実施し、達成者には学生デザインのクリアファイルを進呈しました。自然循環局の協力による缶バッジづくり体験も子どもたちに好評でした。写真展示やステージ発表、各国のPR動画などを通して多文化理解を促進し、終了後は「お疲れ様会」で学生同士の親睦を深めました。</p> <p>※コートジボワールとガーナは同一ブースで提供したため、1か国としてカウントしています。</p>
--

<記録写真>



ウズベキスタンの紹介 和やかな雰囲気の会場（食を通して交流） 多くの来場者で熱気あふれる会場 ミャンマーの民族衣装の日本人学生と留学生

<参加者からのコメント>

<ul style="list-style-type: none"> ・スルトノヴァ ヒローラさん（ウズベキスタン） / Sultanova Hilola ・ヌイ ヌイ ヒライ（ミャンマー） / Nway Nway Hlaing ・アスフォ ハダッシュ ハゴス（エチオピア） / Asfaw Hadush Hagos 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハユニンシ アニサ ファリダ（インドネシア） / Hayuningsih Annisa Farida ・ジャヴァンマロド ザハラ（イラン） / Javanmard zahra ・フォファナ ヤコウバ（コートジボワール/ Fofana Yacouba
<ul style="list-style-type: none"> ・ウズベキスタンは日本ではまだまだ知られていない国かもしれませんが、今回の文化講座を通じて、日本の皆様に母国を紹介する貴重な機会をいただき、心より感謝申し上げます。外の暑さにもかかわらず、多くの方々に関心を文化講座にご参加くださり、大変嬉しく思いました。また、開催にあたって学生会館の皆様が準備を手伝ってくださり、大変助かりました。文化や食、社会的背景など、様々な面から母国をご紹介することができ、日本人参加者の皆様と家族全員で直接交流できたことは、私にとってもかけがえのない、素晴らしい経験となりました。 ・地域交流会で、友だちと一緒にミャンマー料理を作りました。みんなに食べてもらえて、とても嬉しかったです。伝統料理を作るのは初めてだったので、少し緊張しましたが、とても良い経験になりました。あと、皆さんから「美味しい」と言われてとても愉快でした。 ・先日参加したイベントは非常に興味深く、一般の日本人と交流し、日本での生活について貴重な洞察を得る機会となりました。コミュニケーションを築き、意見交換を行う、実に有意義で素晴らしいプラットフォームとなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月12日に開催された地域交流会に参加できてとても嬉しかったです。サテ・アヤム（ピーナッツソースの焼き鳥）、デザート揚げバナナ、エス・ダウェットなど、インドネシアの代表的な料理を紹介する素晴らしい機会となりました。参加者の皆さんの熱意は予想以上に高く、料理をとっても楽しんでいる様子が見られて嬉しかったです。今後もこのような機会が続き、食を通して文化を共有し、繋がりを感ぜられることを願っています。 ・会館で開催された地域文化交流会や秋まつりなど様々なイベントに参加する機会をいただき、心より感謝申し上げます。温かく親切な日本の皆さんと料理を作り、共に分かち合うことができたのは、素晴らしい経験でした。地域文化交流会では、イランの料理と文化を紹介できたことを嬉しく思うと同時に、インドネシア、ミャンマー、そして日本の食と伝統についても多くのことを学ぶことができました。このような有意義で楽しいイベントを企画していただき、誠にありがとうございました。本当に忘れられない経験となりました。 ・秋まつりは活気に満ち溢れ、色彩豊かでした。様々な国の伝統衣装に触れ、地元の人々と出会い、共に踊り、素晴らしいひとときを共有しました。多様性を真に称える、素晴らしい取り組みでした。

英語名称（英語版作成用）

団体名	Yokohama International Student House
事業名	"Uzbek Culture Lecture," "Exchange Event," and "International Cafe & International Food Stall"